ゆうあい 有愛

長南小だより

第１２号

長久手市立南小学校

令和４年３月２４日発行

終わりよければ　すべてよし！

２月から３月にかけて北京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本選手が大活躍し、多くのメダルを獲得しました。世界最高峰のプレーは見る者に感動を与え、心を前向きにしてくれます。さらに、活躍の背後にある「挫折」や「葛藤」、「血のにじむような努力」、「人々の支え」等に思い至るとき、感情移入してしまい、しばしば心打たれてしまいました。数々の名場面や選手の活躍から「勇気や元気」をもらった気持ちです。子どもたちもオリンピックを観戦したり応援したりして、何かしら心を動かされた経験があったと思います。是非その思いを、忘れずにいてほしいと思います。

さて、「終わりよければ　すべてよし」ということわざがあります。「最後の結果がよければ、途中の状況や経過については問題にしない。途中のトラブルやもめ事は水に流そう。」という意味で使われます。ただオリンピックでの選手の活躍を見ていると、自分は少し違う意味でも解釈できるのではないか（あくまでも個人の考え）と思います。つまり、「納得できる結果を迎えることができたのは、自分の目標に向かって努力し続けてきたからであって、途中の状況や経過が良かったからこそ、納得できる結果になった。途中経過も結果に関係していて、すべて良かったから、納得できる結果になった。」とも解釈できるのではないでしょうか。

本日修了式があり、全員が現在の学年を終了しました。また、１８日には６年生が無事に卒業しました。子どもたち全員が、「よくがんばったな」、「終わりよければ　すべてよし」と自分自身を振り返ることができたと思います。一年間、ありがとうございました。

感動の卒業証書授与式

１８日（金）、卒業証書授与式を行いました。新型コロナウイルスの影響で在校生は出席しませんでしたが、証書授与の場面では、壇上に上がり、担任が名前を呼ぶと、心を込めて返事をして校長より一人一人に証書が手渡されました。校長は、式辞として、卒業生にはなむけのメッセージを贈りました。その後、涙を誘う卒業生の呼び掛けと合唱で幕を閉じました。卒業生の未来に幸多かれ！

６年生　今までありがとう！

８日（火）に、６年生を送る会を行いました。感染拡大防止の為、全校で集まることはできませんでしたが、どの学年も趣向を凝らした出し物と心のこもったメッセージで感謝の気持ちを６年生に伝えることができました。温かい雰囲気に包まれた、たいへん有意義な会になりました。中学校でも活躍してくれることを願っています。

お願い　◎　休業中、４月に入ってからも今後の動向等、大事なお知らせをメール配信します。メールの解除をされないようお願いします。４月当初に学年の繰り上げをこちらで行います。

◎　４月６日（水）に行われる入学式に、在校生が参列することは、座席等の関係上、お断りしています。ご協力よろしくお願いします。